

# 高潮 ⑥鹿島・浜海岸はん濫

## 浸水想定凡例

- 0.0~0.1m未満の区域
  - 0.1~0.3m未満の区域
  - 0.3~0.5m未満の区域
  - 0.5~1.0m未満の区域
  - 1.0~2.0m未満の区域
  - 2.0~5.0m未満の区域
  - 5.0m以上の区域
- 想定越水箇所
  - 緊急輸送道路(通行可)
  - 緊急輸送道路(冠水が予想される区間)
  - 当該ブロック界

### 【当該ブロックの特性】

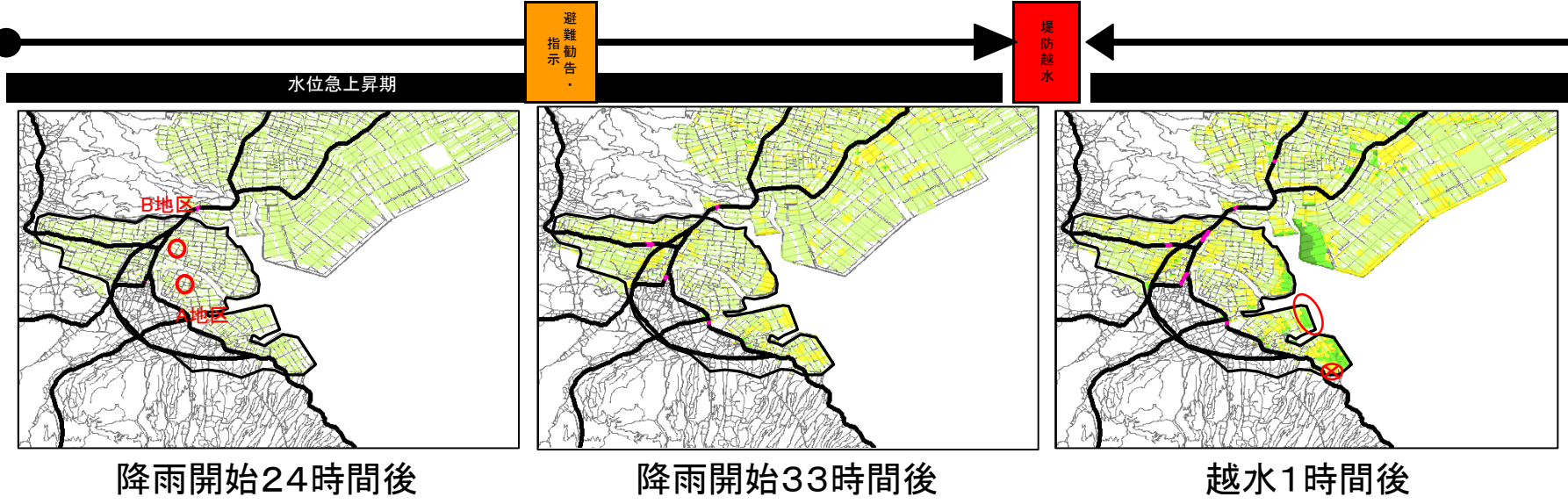
【避難所】すべての避難所が浸水で使用できない校区が存在するなど、避難所の多くが浸水で使用不可となる恐れがある。  
 【電気】床上浸水が多く、停電世帯が多く発生する恐れがある。  
 【上水道】高層建物では、地下機械室の浸水や受水層ポンプ故障により断水する恐れがある。  
 【廃棄物】床上浸水が多く、大量の廃棄物が発生する恐れがある。  
 【要援護者施設】ケアハウス、老人ホーム、特別養護老人施設において浸水する恐れがある。  
 【LPガス】LPガス容器の流出・LPガス供給設備・消費設備の水没により使用不能となる恐れがある。  
 【道路】緊急輸送道路が六角川流域を縦横に走り、部分的ではあるが広範囲で冠水が予想される。また、はん濫水が引いた後も、浸水によって放置された車両などの影響で渋滞が発生し、道路を利用した活動に支障をきたす恐れがある。  
 【死者】約0人(避難率0%の場合)  
 【孤立者数】約9,200人(避難率0%、1日後の場合)  
 【通信】浸水深が2m以上となれば、交換所の浸水の恐れがあり、通信サービスの提供に影響が生じる恐れがある。  
 【家屋流失】越水地点から約600mの範囲で居住不可能な家屋被害が出現する。

被害項目	約	
浸水区域内人口(人)	約	9,000
浸水面積(ha)	約	1,300
床上浸水(世帯数)	約	1,800
床下浸水(世帯数)	約	900
死者数(人)	約	19 (避難率 0%)
	約	17 (避難率 10%)
	約	11 (避難率 40%)
	約	4 (避難率 80%)
孤立者数(人)	約	1,000 (避難率 0%)
	約	900 (避難率 10%)
	約	600 (避難率 40%)
	約	200 (避難率 80%)



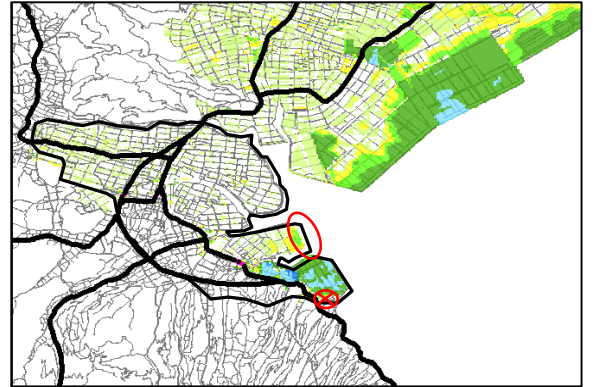
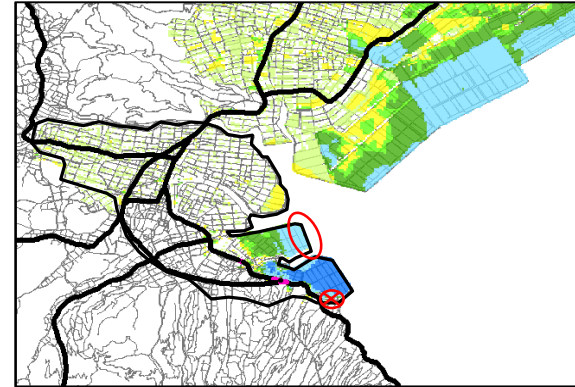
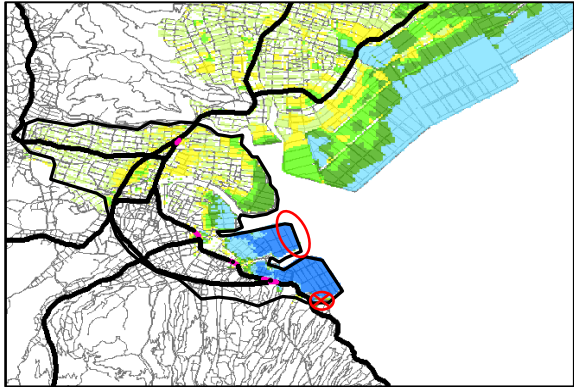
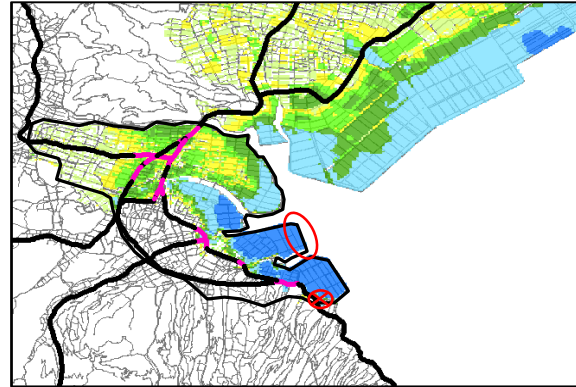
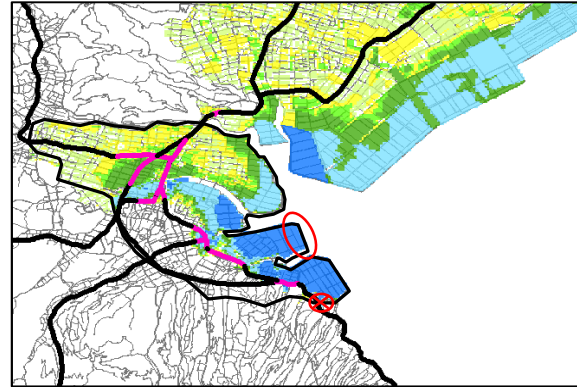
- ### 凡例
- 駅
  - ■ ■ 鉄道
  - 国道
  - 高速道路
  - 市町界
  - 河川
  - 代表地区

項目  
浸水被害と冠水が予想される区間



項目	水位急上昇期	避難勧告・指示	堤防越水
A地区	●10cm未満	●10cm未満	●30~50cm未満
B地区	●10cm未満	●10cm未満	●10cm未満

1. 供給 ・電気 ・ガス ・上水道	■ 停電による関連施設への影響の波及 * 受電側(居住地など)が浸水により停電発生している可能性が高い
2. 衛生処理 ・水害廃棄物 ・防疫	
3. 輸送 ・鉄道 ・道路	■ 鉄道の運行停止(降雨等の気象状況を基に予め浸水開始前に運行停止) ■ 鉄道の浸水(軌道、線路ポイント冠水) ■ 道路冠水による輸送力の低下
4. 安全・防犯 ・警察署 ・消防署	■ 浸水による通行止め道路の把握困難 ■ 道路冠水による活動支障 ■ 放置車両、渋滞による活動支障
5. 情報通信	
6. 避難所	■ 浸水範囲、被害の把握が困難
7. 防災・水防	■ 避難所浸水による避難場所の選定、指示が困難 ■ 広域的避難要望の増大 ■ 要援護者、孤立者の把握困難
8. 福祉・医療・教育	■ 放置車両や道路冠水による患者搬送困難 ■ 災害時要援護者等の避難困難 ■ 停電後非常用電源に切り替わる
9. 居住	■ 入手情報が断片的で状況把握が困難 ■ 内水発生による家屋への孤立 ■ 周辺の浸水により患者の搬送・受け入れが困難 ■ 災害時要援護者等の所在の確認困難 ■ 浸水による建物外への避難困難、孤立化



越水3時間後

越水6時間後

越水12時間後

越水24時間後

越水48時間後

●1.0～2.0m未満

●1.0～2.0m未満

●10～30cm未満

●10cm未満

●10cm未満

●床上浸水や停電が想定される／避難所が浸水で使用できなくなる可能性がある。  
●越水後水中歩行による避難が困難となる可能性がある。

●10～30cm未満

●10～30cm未満

●10cm未満

●10cm未満

●10cm未満

●電力: 変電所が浸水対策以上に浸水した場合には電力設備に被害が生じ、供給地域で停電する恐れがある。  
●LPガス: LPガス容器の流出、LP供給設備の水没による使用不能になる恐れがある。  
●上水道: 浸水により一部の上水道施設の機能が停止し、断水や水の出が悪くなる恐れがある。

■道路冠水、インフラ障害による応急復旧活動への影響

●浸水による生活環境の悪化等により感染症の発生が想定される。

●高潮による流入物や建築物の浸水等による廃棄物、粗大ごみなどが大量に発生する恐れがある。

●決壊後3時間では、緊急輸送道路である国道207号で冠水が予想される。

■放置車両による通行障害

■警察署、消防署及びその周辺の浸水による作業困難化

■治安悪化の恐れがある

■停電後非常用電源に切り替わるが、燃料補給できない場合は通信障害発生  
\*バックアップ機能を有するテレビ・ラジオは放送継続  
●浸水深が2m以上となれば、交換所の浸水の恐れがあり、通信サービスの提供に影響が生じる恐れがある。

■浸水による物資補給困難、避難所での生活必需品不足の恐れ

●避難所自体が浸水して使用できなくなる恐れがある。

■避難所周辺の道路が浸水して孤立化するところが多く出る。

■道路冠水による水防活動が困難

■インターネット不通による防災情報提供の困難

●排水ポンプ場や水門等の構造物の冠水の可能性がある。

■交通、ライフライン被害の把握困難

■行政機関冠水による防災情報提供の不足、遅れ

■非常用燃料の供給困難による排水機場の機能障害

■資機材不足による孤立者、要援護者等の救出困難

■燃料補給できない場合は医療活動に支障(病院・福祉施設)

■機器冠水による医療活動の支障

■医療救護班の不足の恐れ

●決壊後3時間には、周辺の浸水によって車輛による患者の搬送・受け入れが困難な状況となる恐れがある。

●決壊後3時間では、浸水深1m以上になり、固定電話を使用した救助要請や防災情報の入手が困難になる。  
また、停電によりTVからの情報入手が困難となる恐れがある。

■家屋浸水に伴う停電でTVやインターネットからの防災情報等の入手困難

■家屋浸水に伴う停電で固定電話の使用不可／救助要請の伝達が困難